

産業懇談会の紹介 ～新代表世話人よりご挨拶～

■産業懇談会とは

産業懇談会は、会員のより積極的な参加を目指す組織運営と、次代を担う経営者育成のための情報交換組織

として、1974年に設置されました。現在は企業経営者が直面する諸問題に関する状況の把握や会員相互の交流を目的に、約800人の会員が14グ

ループに分かれ、自主的かつ積極的な活動を展開しています。今年で40年を迎えた産業懇談会に、ぜひご参加ください。

有益な交流の場＝産業懇談会

産業懇談会 代表世話人

稲野 和利 野村アセットマネジメント 顧問



今年度より産業懇談会の代表世話人を務めております稲野です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

産業懇談会には、現在、経済同友会会員1,334人のうち803人が参加されており、「第1火曜グループ」のように各週の曜日ごとに組成される14グループにおいて、毎月昼の定例日に例会が開催されています。外部講師やメンバーの講演あるいは施設見学など、各グループの世話人を中心に活発な活動が行われ、政策

委員会と並ぶ経済同友会活動の大きな柱となっています。すでに多くの方々がこの活動に参加されているわけですが、われわれの願ひはさらに多くの方々に参加していただきたいということです。

かく言う私も実は、産業懇談会に参加したのは副代表幹事に就任した後でした。先輩に強く促された結果ですが、活動に携わってみて、「しまった。うかつだった。もっと早く参加していたら、得るところはもっと多かったのに」と思ったのが正直なところ。今では私の所属する毎月の第四金曜日の昼の例会を心待ちにする日々です。

現在、実際に会合を一度体験された上で入会を検討することが可能な「お試し参加キャンペーン」を実施中ですので、未参加の方々の積極的なご参加をお待ちしております。

未知の情報を得て知識を深める

産業懇談会 代表世話人

杉江 和男 DIC 取締役会長



産業懇談会の特徴の一つとして、各グループのメンバーは広範な産業にわたる企業経営者や団体役員、会計士、弁護士などによって構成されていることが挙げられます。

私は「第4木曜グループ」に加わってから10年以上たちますが、講師か

ら提供される話題は、国内外産業のトピックスから文化、経済、教育、健康、生活環境など多岐にわたり、毎回、新たな情報に遭遇できることにとっても感謝しています。

毎月の固定した日の昼食時間に開催されるため、比較的業務時間のロスは少なく、およその年間予定を先に自分でインプットできるため、都合に合わせて出席できます。

メンバー自らの業務に直接的な関連性がいつも高いとは言えませんが、未知の情報を得て知識を深めることが、政策委員会とは違った意味で会社の経営に役立っていると私は評価しています。会員の皆さまに、ぜひ、一年間でもご参加されることをお勧めします。

14グループ合同懇談会(暑気払い)

7月30日(水)、パレスホテル東京にて毎年恒例の14グループ合同懇談会(暑気払い)を開催しました。184人が出席し、にぎやかな雰囲気の中、グループを超えて親睦を深め、盛会となりました。



『お試し参加キャンペーン』実施のお知らせ

本年10月～2015年3月まで、新入会員および幹事を対象に「お試し参加キャンペーン」を実施中です。詳細は、対象者へお送りするご案内をご覧ください。また、ぜひご参加のご検討をお願いいたします。

本件連絡先 経済同友会 事務局 織田・安藤・松崎
TEL:03-3284-0220